



能・狂言 かんぜきゅうこうかい

# 観世九臈会

Noh Kyogen  
KANZE KYUKOKHKAII

令和6年 年間番組  
**2024**  
Schedule

やらいのうがくどう  
**矢来能楽堂**  
Yarai Noh Theater

## 令和6年(2024年)観世九臈会 定例会 入場券価格(全指定席)

**【単月・一回券】**  
各部(1部または2部・入替制)  
正面席 5,500円 脇正面・中正面席 4,400円  
学生券(脇正面・中正面) 2,200円  
※学生券は26歳未満・要学生証・未就学児入場不可

**1部2部通しセット(脇正面・中正面のみ)**  
7,800円(8,800円のところ1,000円割引でおトク!)

**上半期セット【6枚】**(毎月どちらかの部のみ1枚×6ヶ月 計6公演)  
正面席 33,000円(席一括指定特典あり)  
脇正面・中正面席 26,400円(席一括指定特典あり)

**下半期セット【5枚】**(毎月どちらかの部のみ1枚×5ヶ月 計5公演)  
正面席 27,500円(席一括指定特典あり)  
脇正面・中正面席 22,000円(席一括指定特典あり)  
※半期セット券は、各月の1部または2部のどちらかをあらかじめお決めいただいた上で、ご注文下さい。  
1部か2部かの組み合わせはご自由です。

**上半期セット【12枚】**(毎月通し×6ヶ月 計12公演)  
正面席 66,000円(席一括指定特典あり)  
脇正面・中正面席 42,000円(席一括指定特典あり) 1回分が4,400円のところ3,500円でおトク!)

**下半期セット【10枚】**(毎月通し×5ヶ月 計10公演)  
正面席 55,000円(席一括指定特典あり)  
脇正面・中正面席 35,000円(席一括指定特典あり) 1回分が4,400円のところ3,500円でおトク!)

**【ご予約開始】**  
上半期セット券(1月~6月分) ご予約開始中~1月公演日まで  
下半期セット券(7月~12月分) ご予約開始中~7月公演日まで  
単月券(1月~12月分) 11月20日より

お申込み・お問合せ: 矢来能楽堂事務所  
電話: 03-3268-7311 代表メール: yarai@eos.ocn.ne.jp  
矢来能楽堂HP: <https://yarai-nohgakudo.com/>  
※矢来能楽堂ホームページからお申込フォームでご予約承ります。



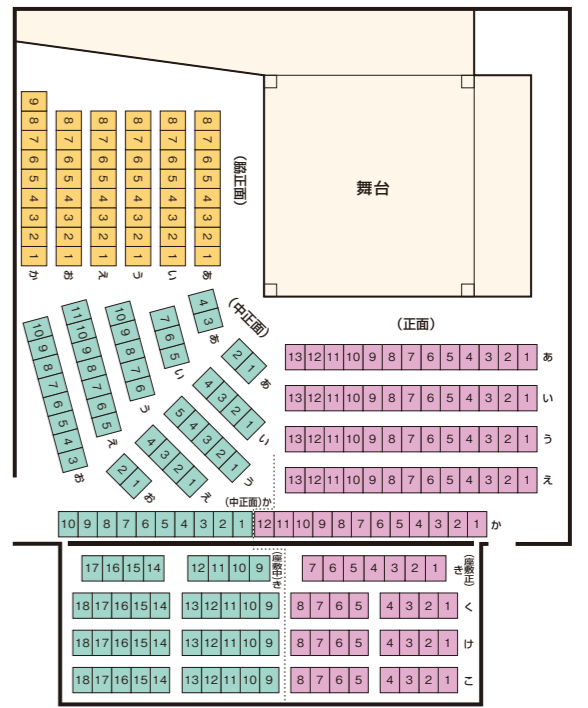
※若竹能、別会、はじめての矢来能楽堂の料金は、別途設定となります。詳細は決定後の各公演チラシまたはHPにてご確認ください。  
※ご購入後は、公演中止のほかは、原則として払い戻しをいたしません。  
※上演中の録音、録画、携帯電話のご使用および、演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。場合によっては退場していただく場合もございます。  
※記載の事項は、やむを得ない事情により変更となる場合がございます。最新情報は矢来能楽堂ホームページをご覧ください。

主催: 公益社団法人観世九臈会

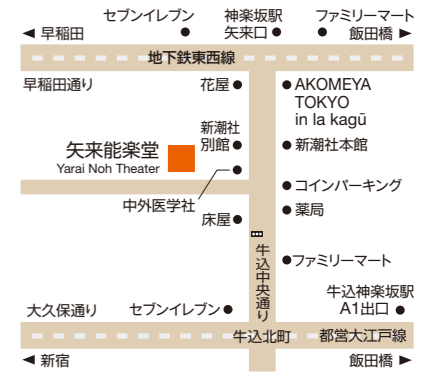
日本橋人形町  
**菓子司 英**  
御会の御菓子、ご要望に応じてご調整いたします。お気軽にお申し付けください。  
東京都中央区日本橋人形町2-3-2  
御用命電話番号03-3666-2625

各種謡本、囃子手付  
能楽関連書籍  
お稽古用品ほか取り扱い  
**能楽書林**  
矢来能楽堂内に売店あります  
【店舗】  
東京都千代田区神田神保町3-6  
☎ 03-3264-0846  
FAX 03-3264-0847  
メール shorin@mercury.plala.or.jp

marutou farm  
**まるとう農園**  
by 丸東製茶  
〒428-0039  
静岡県島田市金谷猪土居3461番地の1  
お電話・FAXでのご注文(平日8:30~18:00)  
**0120-418-391**  
FAX: 0547-46-3966(平日24時間)



矢来能楽堂 座席表  
座敷席1列目は堀りごたつ形式でお座りいただけます。  
(2列目以降は通常のイス席です。)



地下鉄東西線神楽坂駅下車 矢来口より徒歩2分  
都営大江戸線牛込神楽坂駅A1出口より徒歩5分  
駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。

公益社団法人  
**観世九臈会**  
〒162-0805 東京都新宿区矢来町60番地  
電話 03-3268-7311 FAX 03-5261-2980

# 令和6年観世九臈会公演



## 定例会

会場 矢来能楽堂

〔第1部〕12時30分開演（12時開場）  
〔第2部〕15時30分開演（15時開場）

定例会以外の公演の開演時間は、別途設定となります。

毎月第二日曜日に行われている矢来能楽堂の定例会公演。観世九臈会に所属する能楽師がシテ（主役）をつとめ、毎月様々な曲を上演します。

2部入替制で、それぞれに能が一曲と、1部2部のどちらかに狂言または仕舞（はかま姿で舞う短い演目）も上演されます。お得にご覧いただける通しセツトや、半期セツト券もご用意しています。

### 上半期

1月6日(土) January	第1部 能 翁 <small>おきな</small> 長山 耕三 第2部 能 國 栖 <small>くに せ</small> 奥川 恒治
2月11日(日) February	第1部 能 高 砂 <small>たか さと</small> 中所 宜夫 第2部 能 朝 長 <small>あさ なが</small> 中森 貫太
3月10日(日) March	第1部 能 忠 度 <small>ただ のり</small> 佐久間 二郎 第2部 能 誓 願 寺 <small>せいかんじ</small> 観世 喜正
4月14日(日) April	第1部 能 櫻 川 <small>さくらがわ</small> 小島 英明 第2部 能 邯 鄲 <small>かんたん</small> 坂真 太郎 <small>薬屋</small>
5月12日(日) May	第1部 能 室 君 <small>むろ きみ</small> 鈴木 啓吾 第2部 能 女 郎 花 <small>おんななし</small> 駒瀬 直也
6月15日(土) June	第1部 能 夕 顔 <small>ゆづ がお</small> 遠藤 喜久 <small>山端之出</small> 第2部 能 葵 上 <small>あひの うえ</small> 新井 麻衣子

### 下半期

7月14日(日) July	第1部 能 小 督 <small>こ とう</small> 永島 充 第2部 能 大 佛 供 養 <small>だいがつく ぐやう</small> 小島 英明
9月8日(日) September	第1部 能 盛 久 <small>もり ひさ</small> 観世 喜正 第2部 能 龍 田 <small>たつ た</small> 鈴木 啓吾 <small>移神楽</small>
10月13日(日) October	第1部 能 三 輪 <small>み わ</small> 桑田 貴志 第2部 能 俊 寛 <small>しゅん かん</small> 遠藤 和久
11月10日(日) November	第1部 能 景 清 <small>かげ きよ</small> 遠藤 喜久 第2部 能 紅葉 狩 <small>もみじ かり</small> 弘田 裕一 <small>鬼揃</small>
12月8日(日) December	第1部 能 葛 城 <small>かづら き</small> 中森 健之介 第2部 能 鉢 木 <small>はちのき</small> 奥川 恒治

※令和6年は8月の定例会はお休みいたします。

## 観世九臈会

### 別会（特別公演）

会場 国立能楽堂（千駄ヶ谷）

観世九臈会による特別公演。能楽堂では最大級に席数の多い千駄ヶ谷の国立能楽堂で開催します。

特別な曲や、稀曲などをベテラン能楽師が上演。能に加えて狂言、仕舞なども上演されます。

## 若竹能

会場 矢来能楽堂

観世九臈会の若手能楽師の研鑽会、若竹会（わかたけかじ）の公開公演。若手能楽師だけでなく、ベテラン勢も花を添え、少し上級の演目に挑戦します。能のエッセンスでもある仕舞も多数披露し、能楽を、堪能いただきます。

4月21日(日) 〔13時開演〕	能 隅 田 川 <small>すみだ がわ</small> 永島 充 能 船 辨 慶 <small>ふなべん けい</small> 佐久間 二郎 <small>重前後之替</small>
------------------	--

2月25日(日) 〔13時開演〕	能 吉 野 天 人 <small>よしの てんにん</small> 鈴木 啓吾 <small>天人揃</small> 能 大 江 山 <small>おおえ やま</small> 桑田 貴志
------------------	---

7月21日(日) 〔13時開演〕	能 善 知 鳥 <small>うとう</small> 奥川 恒治 能 融 <small>とまる</small> 中森 健之介
------------------	---

## 矢来能楽堂普及公演 はじめての 矢来能楽堂 special

会場 矢来能楽堂

能楽がはじめてのお客様にもおススメの矢来能楽堂の普及公演。分かりやすい演目を選曲し、上演前には能楽師が見どころを解説。事前に理解を深めてから、お能をご覧ください。また、鑑賞の手引きのテキストもご用意しています。毎回満席になる人気の公演です。

5月6日(月・祝)	能 土 蜘蛛 <small>つちぐも</small> 遠藤 喜久 2部 〔14時開演〕 鈴木 啓吾
11月1日(金) 〔19時開演〕	能 鐵 輪 <small>かな わ</small> 駒瀬 直也

## 矢来能楽堂と観世九臈会

### 矢来能楽堂

神楽坂にある能楽堂（能・狂言の専用舞台）。定期的に能楽公演が行われています。能楽観世流観世九臈会が所有。平成23年に国の登録有形文化財に登録されました。

観世九臈会の二代目当主である初世観世喜之が昭和5年に現位置（当時の牛込区矢来町）に新築、昭和20年5月24日に空襲で焼失し、昭和27年9月に同位置に二世観世喜之が現舞台を再建しました。舞台には木曾御陵林の檜材が使用され、約70年日々磨き上げて大切に使われ続けています。



二世 観世喜之

### 観世九臈会

能楽の演能団体。能楽五流のうちの観世流の一派です。明治期に観世鏡之丞家から別家した観世清之（1849-1909）が初代当主。「九臈会」の名は、明治期に初世観世喜之（1885-1940）のもとに集っていた文人の一人である清浦圭吾（のちの二十三代内閣総理大臣）が『詩経』にある「鶴九臈に鳴き声天に聞こゆ」より命名しました。現当主は四代目で三世観世喜之（1935-）で、嫡男の観世喜正（1970-）を始め約40名のプロの能楽師が所属しています。昭和27年に文部省（当時）より社団法人の認可を受け、平成24年に内閣府所管の公益社団法人へ移行認可を受けました。

能楽の演能団体。能楽五流のうちの観世流の一派です。明治期に観世鏡之丞家から別家した観世清之（1849-1909）が初代当主。「九臈会」の名は、明治期に初世観世喜之（1885-1940）のもとに集っていた文人の一人である清浦圭吾（のちの二十三代内閣総理大臣）が『詩経』にある「鶴九臈に鳴き声天に聞こゆ」より命名しました。現当主は四代目で三世観世喜之（1935-）で、嫡男の観世喜正（1970-）を始め約40名のプロの能楽師が所属しています。昭和27年に文部省（当時）より社団法人の認可を受け、平成24年に内閣府所管の公益社団法人へ移行認可を受けました。

矢来能楽堂（国の登録有形文化財）の維持管理のため、ご寄附をお願いいたします。公益社団法人観世九臈会は、賛助会員（個人・団体）も募集しております。

- ・入会金 10,000円
  - ・年会費（当法人の事業年度は4月1日～3月末日です。）  
賛助会員（個人）年会費 1口 30,000円～  
賛助会員（団体）年会費 1口 50,000円～
- 矢来能楽堂事務局までお問い合わせください。書類をお送りします。

※なお、公益社団法人観世九臈会へのご寄附ならびに賛助会費は、個人、法人いずれも税法上の優遇措置（所得控除対象）を受けることができます。

